自然育ちの牧草牛

大地にはぐくまれたおいしい赤身肉です。

ニュージーランド牧草牛の「牧草食」

■ニュージーランドの牧草牛は100%牧草だけで育った牛。牛は本来、草だけを食べて生きる動物のため、4つの胃袋を持ち、何度も反芻しながら栄養豊富な牧草を消化します。牛にとって牧草肥育は最も自然な状態であるといえます。牛舎がない、広々とした自然豊かな土地を利用した牧草地で、ビタミン、カロテンなどの緑黄色野菜に含まれている栄養がたっぷりの牧草を食べることができる放牧飼育でのびのびとストレスフリーで育てられています。

■牧草牛には季節ごとに栄養価の高いマメ科・イネ科の牧草を中心にハーブをミックスした種が蒔かれ、ハーブをミックスすることで牛の食欲増進や消化を助長。牧草の種類としては、クローバーやライグラスを中心に、アルファルファー、プランテーン、コックスフットなどがあり、一年中発芽が絶えません。

からだにやさしい美味しさ

■マグロやカツオなどの赤身魚には「うまみ成分」が含まれています
実は赤身肉である牧草牛にもこの成分がたっぷり。イノシン酸とグルタミン酸からなるうまみ成分は、食品の赤い部分に含まれていて味に敏感な日本人が好む鰹だしや昆布だしもこの「うまみ」が主成分になっています。
本来のえさである牧草を食べている牧草牛には、「鉄分」や「オメガ3脂肪酸」などの大切な栄養素が、穀物を与えて肥育される牛よりも多く含まれていながら「低脂肪」「低悪玉コレステロール」でとてもヘルシーです。
素材がいいからシンプルな調理法でおいしさが引き立つと世界のトップシェフから認められています。

制作・編集　株式会社マーム 東京都江東区森下3-10-31　https://www.ma-am.jp